平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	英語3(English 3)			授業コード	A027712
担当教員名	津田　克巳			科目ナンバリングコード	A20307
配当学年	2	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	特にありません。				
受講心得	予習は必ずしてください。授業には教科書のほかにノートと辞書(電子辞書も可)をいつも持参してください。				
教科書	テリー・オブライエン／三原京／氏木道人／木村博是『ブラッドリーのハッピーライフ』(南雲堂)				
参考文献及び指定図書	豊永彰『英文法　ビフォー＆アフター＜改訂新版＞』(南雲堂)、佐藤誠司『大学生のための英語構文・文法完全理解ハイギア』(南雲堂)、中村徳次『なるほど納得　英語の常識』(朝日新聞社)、バーダマン／三川基好『スヌーピーが先生！英語で話そう。』(朝日新聞社)、秋本弘介『英語のことわざ』(創元社)、『英語便利辞典』(小学館)、牧野髙吉『英語の論理　日本語の心』(ちくまプリマー新書025)、小山内大『＜クイズ＞英語生活力検定』(大修館書店)、小山内大『＜クイズ＞英語生活力検定2』(大修館書店)、小池直己・佐藤誠司『英語ネイティブ度判定テスト』(大修館書店)、大堀勝弘『カメレオン英単語』(講談社インターナショナル)、ティム・ヤング『その英語、通じません！』(大和書房)、リサ・ヴォート『笑顔になれるポジティブ英語メモ』(実業之日本社)、イ・ジョンミン『ドーナツ半分は単数形？　複数形？』(講談社インターナショナル)、里中哲彦『英語の質問箱』(中公新書2086)、里中哲彦『英文法の魅力』(中公新書2165)、里中				
関連科目	英語1・2、基礎学力講座1・2(国語)、文章表現基礎講座、情報リテラシー1・2。				

授業の目的	大学2年といっても英語の力に自信のない人の数はまだまだ多いと思われます。1年次の「英語1」および「英語2」の単位を取得した後も英語の学習は続けるのがよいでしょう。この「英語3」では「1・2」に引き続いて基礎的な英語の能力を養成するための学習を行います。
授業の概要	大学生として必要な基本的な英語力を培うために、文法力と作文力とを身につけさせることを意図し、練習問題によって学生の主体的な学習を促します。基礎学力の十分でない学生のためにある程度の講義を行いますが、同時に学生たちの積極的な授業参加を求めます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： クラス分け試験 クラス分けのための試験を行います。これを受けない学生は配属クラスが決まらず、したがってこの科目の履修ができません。	欠席しないことを心がける。
第 2 週 ： クラス分けおよび半期の学習に関してのオリエンテーション クラス分けを確認した後、授業の進め方、出欠の取り方、遅刻・早退の取り扱い、試験の行い方、成績評価の行い方等についての説明を行います。	伝達事項について復習をしておく。
第 3 週 ： Unit 1: Hallo, I'm Bradley. (1) Photograph(空欄補充)。Reading(本文の聞き取り、音読、読解)。	予習:問題を解き、本文の意味を考える。
第 4 週 ： Unit 1 (2) Grammar(現在時制)。Vocabulary(同義語)。Comprehension(空欄補充と真否の判定)。Your opinion(英作文)。	予習:問題を解き、作文を行う。
第 5 週 ： Uniti 1 (3) Dialogue(聞き取りと空欄補充)。	予習:本文を読み、意味を考える。
第 6 週 ： Unit 1 (4) Writing(並べ替えと空欄補充)。B45	予習:本文を読み、課題を行う。
第 7 週 ： Unit 1 (5) Incomplete Sentences(空欄補充)。Info-box(文法事項の説明)。	予習:課題を行い、文法を復習する。
第 8 週 ： Unit 2: Brad is my friend. (1) Photograph(空欄補充)。Reading(本文の聞き取り、音読、読解)。	予習:問題を解き、本文の意味を考える。
第 9 週 ： Unit 2 (2) Grammar(否定)。Vocabulary(同義語)。Comprehension(空欄補充と真否の判定)。Your opinion(英作文)。	予習:問題を解き、作文を行う。
第10週 ： Unit 2 (3) Dialogue(聞き取りと空欄補充)。	予習:本文を読み、意味を考える。
第11週 ： Uniti 2 (4)	

Writing（並べ替えと空欄補充）。Writing（並べ替えと空欄補充）。	予習：本文を読み、課題を行う。
第12週： Uniti 2 (5) Writing（並べ替えと空欄補充）。	予習：課題を行い、文法を復習する。
第13週： Unit 3: I'd like you to meet Richard. (1) Photograph（空欄補充）。Reading（本文の聞き取り、音読、読解）。	予習：問題を解き、本文の意味を考える。
第14週： Unit 3 (2) Grammar（過去時制）。Vocabulary（同義語）。Comprehension（空欄補充と真否の判定）。Your opinion（英作文）。B60	予習：問題を解き、作文を行う。
第15週： Uniti 3 (3) Dialogue（聞き取りと空欄補充）。Writing（並べ替えと空欄補充）。	予習：本文を読み、意味を考える。
第16週： 期末試験 第3週から第１５週までの授業内容に関する試験を行います。	予習：前週までの学習事項を確認する。

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	日本語と並んで英語に関心を抱き、積極的に学ぼうとする。
【知識・理解】	日本語とは異なる英語という言語について基本的な性格を把握する。
【技能・表現・コミュニケーション】	簡単な英文の音読・読解ができ、簡単な会話・作文が行える。
【思考・判断・創造】	英語を通して世界を見ることにより、日本語だけによる場合との相違に気づく。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			**45点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**45点**			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	**5点**			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	**5点**			

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	